

量子エレクトロニクス: レポート等実施要領

課題の提供と提出:

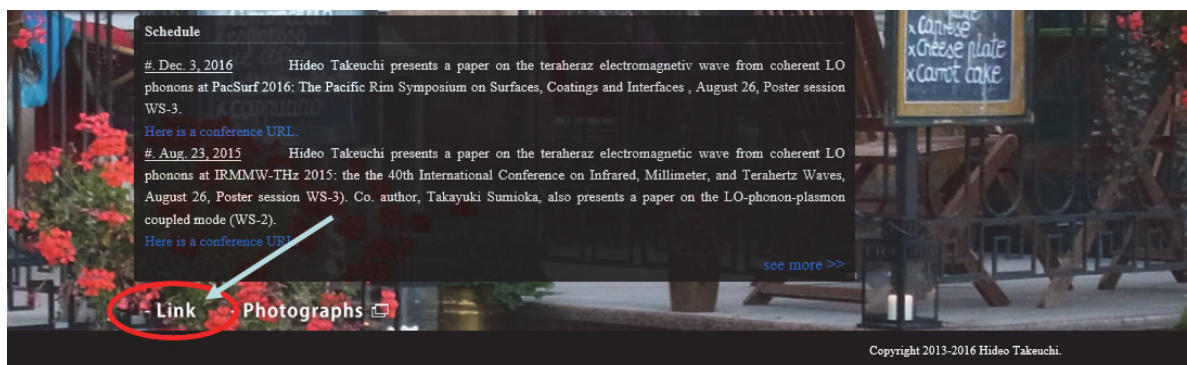
レポート課題は、竹内のホームページ内にアップロードされます。ダウンロードしてください。
竹内のホームページへのアクセス

- (1) 光物性工学研究室の Web Site からアクセスする(大阪市立大学, 光物性工学と Google 検索すれば辿りつく)。あるいは直接以下の URL にアクセスする。

<http://www.ceres.dti.ne.jp/~hideo-t/>



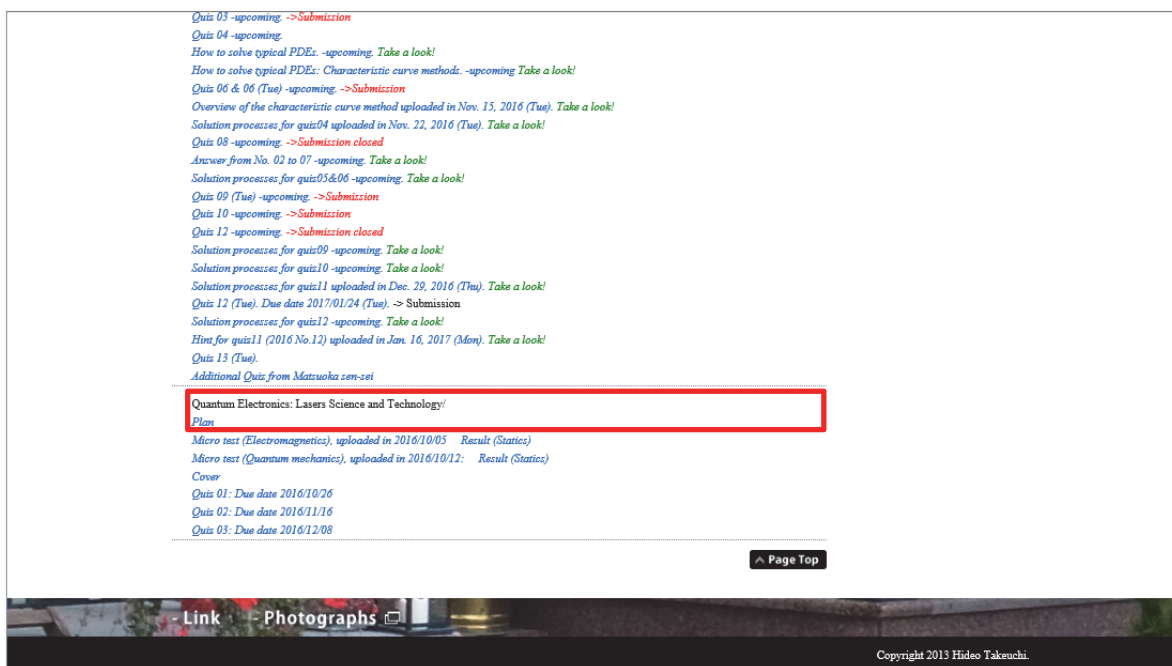
- (2) ページをスクロールダウンして, "Link"と表示されている部分をクリック。



- (3) Educational materials の欄に示されている Quantum Electronics: LASERs Science and Technology/ の下にある Quiz **: Due date 2017/**/**をクリックしてダウンロード。

Due date: 提出期限です。

レポート課題を提出する際には, 表紙を付けてください。Cover をクリックしてダウンロード。
期限までに提出。



- (4) レポート提出に際し、原紙を提出(A4)。かつレポートの解答内容をノートに写しておくこと。
→期末試験の際レポート課題から難題か出題，一たたし変形して出題一，します。

講義の進め方:

- (1) シラバス通りに進めます。ただし以下で述べる小テストの結果を踏まえてペース配分を行います。
- (2) 発問を行い，その場で答えてもらう講義形式とします。従って，若干進捗が遅くなる可能性があります。
発問を行い答えてもらう形式を取ることは，明確な目的があります。就職活動等での面接試験対策です。自身の実力を把握することも目的としています。
「なぜわからないのか」ということに対して理由を付けて論理的に説明して下さい。就職活動の際に大事になります。
- (3) 小テスト(Micro test)を実施します。本年度は，小テストの結果を加味します(事前学習の一環)。かつこの結果を利用し，講義を進める際の参考とします。そして適宜参考図書を紹介します。小テスト問題の模範解答を，小テスト終了後，レポート課題と同様に竹内 WEB Site にアップロードします。当日出席できなかった方は，アップロードしたファイルをチェックしてください。
- (4) 講義中にデモンストレーション実験(*)を最低 2 回行います。この実験に関連した問題を試験問題として少なくとも一問を採用します。デモンストレーション実験なので，しっかり観察を行うこと。

*: 実験風景を録画してアップロードすることは技術的に困難であるため、実施しません。講義の進捗状況により「実験実施日」を連絡します。講義の進捗にあわせてしますので、実験実施日を連絡できるのは2週間前となります。

期末試験:

ノートと関数電卓の持ち込みを可能とします。もちろんですがスマートフォンを含む携帯端末とノートPCの持ち込みは、不可です。

ノート持ち込みとしていますが、竹内が黒板に書いた内容をそのまま試験問題とすることは、あまりありません。教科書持ち込み程度だと思ってください。

ノート持ち込み可としていることにも明確な目的があります。皆さんにノート・テイク技術をしつかり身に付けてほしいからです。

板書だけではなく、竹内が口頭で説明したこともノートに記すこと。卒業研究の際、先輩から教えてもらうことをノート・テイクできるようになれば、研究が進まないからです。

極論を言えば、単純なサフィックス等を口頭で述べるだけにとどめ敢えて板書することは、ないかもしれません。

成績評価:

シラバスに記載の通り。

「留年させてでもしっかり学習させる=いわゆる課程主義型」が普及しつつあります。この傾向に従います。

もちろんですが再テストを行うことはありません。